

インフルエンザの予防について

道内のインフルエンザ定点医療機関からの患者報告数が、平成28年第3週（平成28年1月18日～1月24日）において、11.91名となり、流行が拡大している。

○ 最近の5週における患者報告数 (名)

週	H27年第52週 (12/21～12/27)	H27年第53週 (12/28～1/3)	H28年第1週 (1/4～1/10)	H28年第2週 (1/11～1/17)	H28年第3週 (1/18～1/24)
北海道	2.35	2.73	4.89	7.20	11.91
全国	0.76	0.89	2.03	4.12	10.56

※ 感染症定点医療機関

知事は発生状況の届出を担当させる医療機関をあらかじめ指定し（定点）、定点医療機関は週毎に、知事に報告する。

（インフルエンザ定点 全国：約5,000カ所、道内：226カ所）

※ 患者発生状況は厚生労働省の感染症発生動向調査事業により把握

※ 全国のデータは厚生労働省の発表による。

過去5か年の同時期における患者報告数（道内） (名)

	第51週	第52週	第1週	第2週	第3週
H26～27年シーズン	26.19	33.70	25.73	20.29	14.48
H25～26年シーズン	1.79	2.11	1.47	2.96	4.88
H24～25年シーズン	1.53	2.86	4.87	12.57	19.74
H23～24年シーズン	2.04	3.03	2.69	3.58	8.44
H22～23年シーズン	7.14	5.68	5.56	8.31	13.69

（H27～28年シーズンは53週までであるが、上記5シーズンは52週まで。）

国立感染症研究所感染症情報センターでは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾患について、流行の原因究明や拡大阻止対策を講じるための資料として、都道府県や保健所などに向け、何らかの流行現象がみられることを一定の科学的根拠に基づいて、迅速に注意喚起している。

インフルエンザに関する流行発生の基準としては、次の数値を示している。

警報レベル		注意報レベル
開始基準値	継続基準値	
30.00	10.00	10.00

※ 流行開始の目安：定点あたりの患者報告数が1.00

平成28年第3週の保健所別の患者報告数 (名)

保健所	報告数								
札幌市	13.16	渡島	5.86	滝川	15.86	稚内	16.00	浦河	1.50
小樽市	9.43	八雲	6.00	深川	23.67	網走	8.40	静内	4.50
函館市	8.36	江差	3.00	上川	4.33	北見	6.71	帯広	11.42
旭川市	7.92	倶知安	16.40	名寄	12.40	紋別	2.00	釧路	23.64
江別	10.50	岩内	10.00	富良野	7.67	室蘭	8.63	根室	38.00
千歳	14.38	岩見沢	11.38	留萌	11.33	苫小牧	8.75	中標津	26.33

※ 注意報レベル（10名以上）：14カ所

※ 警報レベル（30名以上）：1カ所

○ 道の対応

様々なメディア等を用いて、道民に注意喚起

- ・ホームページへの掲載
- ・道、保健所におけるポスター掲示
- ・NHKのデータ放送
- ・北海道コココーラボトリング販売機の電光掲示
- ・セイコーマートの店内放送